あなたがつくる　図書館福袋

FUKU　BOOK　RO

「あなたがつくる 図書館福袋」 とは…

「あなたがつくる 図書館福袋」展は、令和2（2020）年8月1日から8月29日まで大阪市立城東図書館で実施された、図書館の利用者同士が本を紹介しあうイベントです。

あらかじめ図書館を利用されている様々な方に声をかけ、「誰かにオススメしたい」「誰かの感想を聞いてみたい」という本についてメッセージを書いて紹介していただきました。図書館は紹介された本を用意して、メッセージと共に袋の中に入れ、それを福袋として並べて、みなさまに借りていただきました。

メッセージの紙には、その本を読んだ方が感想を書けるようになっています。本を読んだ方からの感想が図書館に寄せられたら、集まったメッセージと感想をみんなで楽しもう！
というのがこの企画です。

ここには、みなさまから寄せられた40件のメッセージと、20件の感想を記しています。メッセージと感想、そしてそれらのやり取り自体も、とても興味深いものばかりです。本を読んで感じた面白さや、心が震えるような経験は、誰かに伝わることがあるものなのだと思わされるでしょう。

こちらに記載されたメッセージおよび感想はクリエイティブ・コモンズ「表示4.0国際（CC　BY4.0）」として公開します。「大阪市立図書館「あなたがつくる図書館福袋」城東2020」と表記していただければ、ここに書かれているメッセージや感想は二次利用が可能です。

なお、こちらに掲載された本は全て大阪市立図書館に所蔵がありますので、読むことが可能です（2020年8月29日現在）。興味のある作品にぜひ手をのばしてみてください。そしてまた、こうした機会があったときは、あなたの感想をお聞かせください。素敵な出会いと楽しい時間を過ごすことができることを願います。

『バッタを倒しにアフリカへ』
前野ウルド浩太郎/著　光文社

まあちゃんさんが紹介してくれました。

まあちゃんさんは、普段、**本に関する仕事をしています。**
まあちゃんさんにとって、この本は**「たのしかった本」**とのことです。

まあちゃんさんからのメッセージです

最近、サバクトビバッタの被害が広がっているニュースを
見ることが多くなりましたが、その研究をしているバッタ
研究者の著者がご自身の研究ライフを書いた本です。

研究者の大変さを実感しつつ大笑いしてしまいました。
まさか今年、サバクトビバッタがこんなに広がるとは…

『ぴょーん』
まつおか たつひで/さく　ポプラ社

ジゼルさんが紹介してくれました。

ジゼルさんは、普段、**エステティシャンをしています。**
ジゼルさんにとって、この本は**「たのしかった本」**とのことです。

ジゼルさんからのメッセージです

1歳の娘が今でも一番に持ってくる本です！

色々本は持っていたり借りたりしていましたが、この本は
6ヶ月くらいの時に借り、初めて読ませましたが「ぴょーん」と
言うと、とってもにこにこします。

一番初めに言えた言葉も「ぴょーん」でした！！

ぜひ読ませてほしい本です。

sawaさんがこの本を借りました。

sawaさんからの感想です。

11か月の娘と読ませていただきました！

娘が3か月のとき、ブックスタートでこの本を紹介していただいたのですが、その頃はまだ大した反応はなく…しかし、今回の福袋をきっかけに改めて読んでみると、ゲラゲラ笑い、自分の体もぴょんぴょんさせて楽しんでいました。

娘の成長を感じ嬉しくなるとともに、勝手ながら紹介者のジゼルさんと娘さんのことを想像し、ほっこりと温かい気分になりました。

ありがとうございました！！

『蒲生邸事件』
宮部 みゆき/著　文春文庫

みゆきちゃんさんが紹介してくれました。

みゆきちゃんさんは、普段、**ボ～ッとしています。**
みゆきちゃんさんにとって、この本は**「たのしかった本」**とのことです。

みゆきちゃんさんからのメッセージです

蒲生大将の死にまつわる推理小説としての面と、タイムトリップを題材にしたSF小説としての面を併せ持つ作品で、城東区内にもある「蒲生」という名前にも惹かれました。

皆さんにも楽しく読んでいただけたらと思います。

『私説・日本合戦譚』
松本 清張/著　文春文庫

ブルガリヤさんが紹介してくれました。

ブルガリヤさんは、普段、**読書をしています。**
ブルガリヤさんにとって、この本は**「たのしかった本」**とのことです。

ブルガリヤさんからのメッセージです

松本清張の歴史本で戦国時代～幕末までの短編集です。

時代小説家以上の考察力とミステリー作家としての推理力
等々…短編集とは思えない重厚感に昭和を代表する日本文学
の巨人に圧倒されます。

歴史好きはもちろん、歴史ものは苦手な方にもおすすめです。

名作はいつまでも新鮮です。

『わにわにのおでかけ』
小風 さち/ぶん　福音館書店

みーさんさんが紹介してくれました。

みーさんさんは、普段、**保育園で働いています。**
みーさんさんにとって、この本は**「たのしかった本」**とのことです。

みーさんさんからのメッセージです

こどもたちが大喜びで何度も読み聞かせた絵本ですよ。

『お絵かき禁止の国』
長谷川 まりる/著　講談社

あーちゃんさんが紹介してくれました。

あーちゃんさんは、普段、**ブックカフェ従業員をしています。**
あーちゃんさんにとって、この本は**「感動した本」**とのことです。

あーちゃんさんからのメッセージです

この本の主人公はレズビアンの少女・ハルです。

私もバイセクシュアルで、人には言いづらい恋をしているので、ハルの苦悩が痛いほどわかります。「私はただ、人を好きになっただけ。どうしてこんなに人一倍悩まなきゃいけないの？苦しまなきゃいけないの？」というセリフに泣きました。

性的マイノリティのあなたや、言いづらい恋をしているあなたにおすすめです。

『119』
長岡 弘樹/著　文藝春秋

おあっちゃまさんが紹介してくれました。

おあっちゃまさんは、普段、**仕事が休みの日は、サルサを踊っています**
おあっちゃまさんにとって、この本は**「たのしかった本」**とのことです

おあっちゃまさんからのメッセージです

城東図書館のすぐ近くに消防署があります。前を通ると時々、訓練している時もあって…。そんな時、思い出すのがこの本。

単なる消防あるあるではありません。独特の長岡ワールドに引き込まれ…。読むと、あなたも消防署の前で立ち止まってしまうかも…？

50円玉2枚さんがこの本を借りました。

50円玉2枚さんからの感想です。

「格好いい正義の味方」。消防士の一般的なイメージかと思いますが、本作品ではそんな消防士の悪意、ある意味人間的な部分が描かれており、その点に惹きつけられ一気に読みました。短編で一話がすぐに読めるのもよかったです。

素敵な本を紹介いただきありがとうございました。

長岡先生の他の作品も読みたいと思います。

『「こんなママでごめんね」から卒業する本』
福田 とも花/著 WAVE出版

はなさんが紹介してくれました。

はなさんにとって、この本は**「気持ちが楽になった本」**とのことです。

はなさんからのメッセージです

子育てに一生懸命で子どもや自分に厳しくなってしまう
ママさんに読んでもらえたら…。少しでも子育てがラクで
楽しくなりますように。

『ゴンちゃん またね』
北野 武/著　文藝春秋

でぐっちーさんが紹介してくれました。

でぐっちーさんは、普段、
でぐっちーさんにとって、この本は「気持ちが楽になった本」とのことです。

でぐっちーさんからのメッセージです

小説家志望の青年と愛犬のゴンちゃんの日常が淡々と描かれているお話。

とても読みやすくて、所々にクスッと笑えるようなところも。犬を飼ったことがない人でも十分わかりやすい。気がついたらゴンちゃんのかわいさにやられてる。疲れたときによんでほしい。

心のすきまを優しく埋めてくれるような本です。

絵も味があってステキ。

まるちゃんさんがこの本を借りました。

まるちゃんさんからの感想です。

でぐっちーさん

毎日毎日色々と嫌なことばかりで疲れていた私は、あなたの選んだ本を手に取りました。
忙しい日が続き、なかなか読むことができませんでしたが、やっと読めました。
あなたとおなじようにゴンちゃんのかわいさにやられ、心が暖かくなりました。嫌なことを忘れられました。
素敵な本を紹介してくれてありがとうございました。

『鬼平犯科帳』
池波 正太郎/著 文春文庫

リーさんが紹介してくれました。

リーさんにとって、この本は**「たのしかった本」**とのことです

リーさんからのメッセージです

何回読んでも面白い。ちなみに今回8回目。

城東大好きさんがこの本を借りました。

城東だいすきさんからの感想です。

恥ずかしながら、2Wでは途中までしか読めませんでした。
が、おもしろいので、また続きを読んでみます！

あなたがつくる　図書館福袋

FUKU　BOOK　RO

世界カワイイ革命　-なぜ彼女たちは「日本人になりたい」と叫ぶのか-

櫻井 孝昌/著　PHP研究所

さやかさんが紹介してくれました。

さやかさんは、普段、**大学生をしています**
さやかさんにとって、この本は**「勉強になった本」**とのことです

さやかさんからのメッセージです

大学で日本の文化について学んでいるのですが、日本の伝統文化ではなく、新たに注目されている「クールジャパン」についてよく知ることができ、日本が誇る文化はまだたくさんあるのだと再確認できる本です。

面白くタメになる本だったので、この本を選びました。

hippoさんがこの本を借りました。

hippoさんからの感想です。

「難しくて読めなかったらどうしよう」に「なんだかおもしろそう」が勝ち、“勉強になった”本とあるこの福袋本を手に取りました。読んでみると、なるほど、少し情報は古いもののカワイイについて多くを知ることができました。

カワイイは強い。それを着る人たちの強さ、好きになってもらえる強み、可能性という強さも秘めている。カワイイに元気をもらえるような気もしました。

私にとっては勉強になり、沈みがちな日々にちょっぴり元気の出る本でした。この本を選んでくれた人に感謝です。

そして出会いを作ってくれた図書館職員さんたちにも感謝。

『クリスマスを探偵と』
伊坂 幸太郎/文　河出書房新社

マさんが紹介してくれました。

マさんは、普段、**趣味で散歩をしています**
マさんにとって、この本は**「たのしかった本」**とのことです

マさんからのメッセージです

これから夏本番というこの時期にあえてクリスマスの本をおすすめします。作者・伊坂幸太郎さん特有の最後のどんでん返しがとてもスッキリします。オススメの1冊です。

『わかる!使える色彩学 -ビジネスで役立つ!-』
勝馬 ちなつ/著 洋泉社

ゆきだるまさんが紹介してくれました。

ゆきだるまさんは、普段、**会社員をしています。**
ゆきだるまさんにとって、この本は**「勉強になった本」**とのことです。

ゆきだるまさんからのメッセージです

商品のパッケージのデザインや看板の配色など、普段何気なく見ているものがおもしろく感じるようになります。

ちなみに私の好きな色は赤色です。

ひろみさんがこの本を借りました。

ひろみさんからの感想です。

今まで、特に気にしていなかった色についての事がおもしろく、為になりました。

『漱石の妻』
鳥越 碧/著　講談社

トンションさんが紹介してくれました。

トンションさんは、普段、**読んでは忘れています**
トンションさんにとって、この本は
「たのしくて、気持ちが楽になった本」とのことです

トンションさんからのメッセージです

超有名な夏目漱石先生。学生に親しまれ、名だたる弟子に育て上げた（漫画『漱石先生とボク』が面白く描いています）。

でも、家庭ではどんな夫、どんな父親だったのか！？悪妻と言われた鏡子夫人に心を傾けてしまいました（良妻と言って良いと思うわ）。

ぷにままさんがこの本を借りました。

ぷにままさんからの感想です。

教科書や夏休みの課題図書で何度も目にした夏目漱石先生。不勉強で、学生に慕われ、優秀なお弟子さんを何人も育てられていたことは知りませんでした。学生の立場では漱石先生は魅力的で離れがたい存在だったのでしょうね。

でも、夫、父親として漱石先生をみると正直辛いな…と。鏡子夫人の求めるものと漱石先生の求めているものの違い。すれ違いの中でも子供たちを守り、ご自分の心も守られた鏡子夫人。私にはそんな強さはありません。読み進める中でしんどい部分もありましたが、トンションさんにおすすめしていただいたご縁で私の世界もひとつ広がりました。ありがとうございました。

『ギリシア神話を知っていますか 』(大活字文庫 1)
阿刀田 高/著　大活字 （福袋には新潮文庫版もあわせて入れました）

マリちゃん(おばんですが)さんが紹介してくれました。

マリちゃん(おばんですが)さんは、
普段、**介護の仕事や、孫と遊んでいます**
マリちゃん(おばんですが)さんにとって、
この本は「たのしかった本」とのことです

マリちゃん(おばんですが)さんからのメッセージです

ギリシア神話をとってもわかりやすく楽しく読めました。
映画のタイトル、たとえば「プロメテウス」も意味がわかればより深く感動できました。

@sakaejyotoさんがこの本を借りました。

@sakaejyotoさんからの感想です。

大活字本をはじめてひらきました。
恥ずかしながら私には難しかったですが、身近な言葉や劇の中にしっかりと影響を及ぼしている神話であるということがわかりました。
2wでは読み切れず、じっくり、ゆっくりと、またこれから読んでみたいと思います。

『クジラの彼』
有川 浩/著　角川書店

りんさんが紹介してくれました。

りんさんは、普段、**営業をしています**
りんさんにとって、この本は**「たのしかった本」**とのことです

りんさんからのメッセージです

有川浩さんの作品が好きで順番に読んでいます。好みがわかれる作品だと思いますが、おもしろいと感じられる方もいらっしゃるとオススメしました！

『空飛ぶタイヤ』
池井戸 潤/著　実業之日本社

ちゃんちゃんさんが紹介してくれました。

ちゃんちゃんさんは、
普段、**普段本は読みませんが、珍しく手に取った本です**
ちゃんちゃんさんにとって、この本は
「たのしかった本」とのことです

ちゃんちゃんさんからのメッセージです

登場人物が多く、名前を覚えるのが大変でしたが、上下2巻をあっという間に読み終えました。

途中の展開で「あっ！」という瞬間があるので楽しみにしてください。

コネコさんがこの本を借りました。

コネコさんからの感想です。

福袋！！手に取って本の厚み確認。2冊かな。何が出てくるか？
『空飛ぶタイヤ』これかぁー実は過去に単行本、文庫本で2回読んだことがあります。既に読んだ事あるから、すこしがっかりしましたが、家族の者が再度読むとの事で、何度も手に取り読みたくなる本です。三菱自動車のリコール隠ぺいの過去の事実に基づいたフィクションだけに読み応えがありました。主人公が、何度も、もう復活は絶望的、誰も味方がいない状況と思える中で這い上がり、たたきのめされても諦めずに立ち向かっていく、その姿、過程が痛快で励まされ、現実にこんな風に信念を持って生きていけたらを思いました。

何事にも自分の心のあり方が強く影響していくので、勇気・信念・諦めない心が大事だと感じます。今回、家族の者が再度読んで、登場人物の心理描写など表現の言い回しが同じで繰り返し出てくる所が少し気になるみたいでした。

池井戸潤の作品はすべては読んでいませんが、人にぜひ読んでみて！とすすめたい本です

『悲しみよこんにちは』
フランソワーズ・サガン/著　新潮社

さくらさんが紹介してくれました。

さくらさんは、普段、**事務のお仕事をしています**
さくらさんにとって、この本は**「感動した本」**とのことです

さくらさんからのメッセージです

早熟の天才、フランスの小説家、フランソワーズ・サガンの処女作です。

サガンが18歳の時に書き上げた短編小説で、とにかく描写が繊細で洗練されていて、どこか甘酸っぱさが漂いながらも、けだるさを感じる、心に残る作品でした。

彼女自身の破天荒で、波乱万丈な人生も興味深いです。若い世代の方にも、ぜひ、オススメです。

『花や咲く咲く』
あさの あつこ/著　実業之日本社

サファイアさんが紹介してくれました。

サファイアさんは、普段、**自然に親しむ活動をしています**
サファイアさんにとって、この本は「感動した本」とのことです

サファイアさんからのメッセージです

太平洋戦争下での仲良し女学生4人の日常をさらりと描いているが、戦争を知らない私にとって衝撃的な記述もあった。

こんな時代に生きなければならなかった少女達に同情を禁じ得ないとともに、これからの時代を背負う若者達にぜひ読んでもらいたい1冊だと思った。

KANONさんがこの本を借りました。

KANONさんからの感想です。

図書館福袋で「サファイア」さんから紹介されました。

戦争について、戦地で戦う兵士など、男性目線の作品は多くありますが、この本の主役は女子学生というのも新鮮でした。

着るものや食料も満足に手に入らず、常に命が危険にさらされる状況の中でも、明るくコロコロと笑う彼女たちが、せつなく美しいです。

簡単に欲しいものを手に入れられる今と、ちょっとしたものを大切に宝物にでき、友情を何よりも大切にする彼女たち。本当の豊かさとは何か、幸せとは何かを考えさせられたり、戦争の理不尽について、改めて思いをはせたり…

福袋でしか出会えなかったこの本は、私の中の大切な一冊となりました。
「サファイア」さん、ありがとうございます！

『くまモン』(小学館学習まんがシリーズ)
森 真理/まんが　小学館

くまどんさんが紹介してくれました。

くまどんさんは、普段、**図書館員をしています**
くまどんさんにとって、この本は**「たのしくて、感動した本」**とのことです

くまどんさんからのメッセージです

偉人伝シリーズで、ヒト以外が取り上げられたのはおそらく初めてだと思います(笑)。

くまモン誕生から熊本大地震後までを描きますが、特に地震後に「今、自分には何ができるのか…」を悩み、行動する姿は感動ものです。

好きな人も、それほどでもない人も、楽しく読めて、最後はほっこり。人もくまも(笑)応援したくなる本です！”おもしろいモン！”

クマモン大好きさんがこの本を借りました。

クマモン大好きさんからの感想です。

あまりこの本みたいな本はよまなかったけど、このきかいにこの本みたいな本を読みたいと思ってうれしかったです。ありがとうございました。